

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和4年 2月 10日

事業実施地区	桜新町区
事業名	町のいま2021・小冊子発行事業
団体名及び 代表者名	(団体名) 桜新町区自治会 (代表者名) 会長 佐藤榮一 (連絡先) 026-241-3980

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

<p>町の分譲60年目の今、コロナ禍で停滞している地域活動や住民交流を小冊子発行への参加(自由投稿等)に依り促進を図る。</p> <p>また冊子で町のいまを伝え、町への愛着や理解を深めると共に、自治会活動などへの関心や積極的な参加を促す。</p> <p>自由投稿は紙原稿・メール・電子データ等、特に制約を設けず匿名等も受付。投稿に基づき編集し500部作成、町内各戸へ配付。</p>	<p>【総事業費】 400,000円</p> <p>【補助金額】 113,000円</p> <p>【事業完了日】 令和4年2月2日</p>
--	---

※活動状況のわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<p>自由投稿(文章・写真など)総数が、150(自治会活動報告含む)を超える多数の参加があり誌面を通して、地域の活性化と住民交流や相互理解の促進が図れた。</p> <p>又、60年前から今の様子まで思い出や日常生活も冊子内容に多く、当時を知ることにより町への関心・愛着が自然に育まれた。</p> <p>自治会活動への投稿もあり、町の活性化や活動への住民参加に貢献出来た。</p>

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容	○			
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	多くの投稿があり、コロナ禍に非接触形の住民交流と地域活性化が図れた事など、町60年目のタイムリーな企画と事業効果を評価。			

■今後の取組予定

<p>コロナの影響で自治会活動が停滞を余儀なくされ、暫くウイズコロナの日常が続くと思われるが、事業を通じ住民参加・交流の促進を継続的に図って行く。</p>

桜新町2021(令和3年度) 冊子写真

自由投稿の紙原稿の一部と完成冊子の一部



完成冊子の表紙と裏表紙



支所発地域力向上支援金 事業評価(朝陽支所)

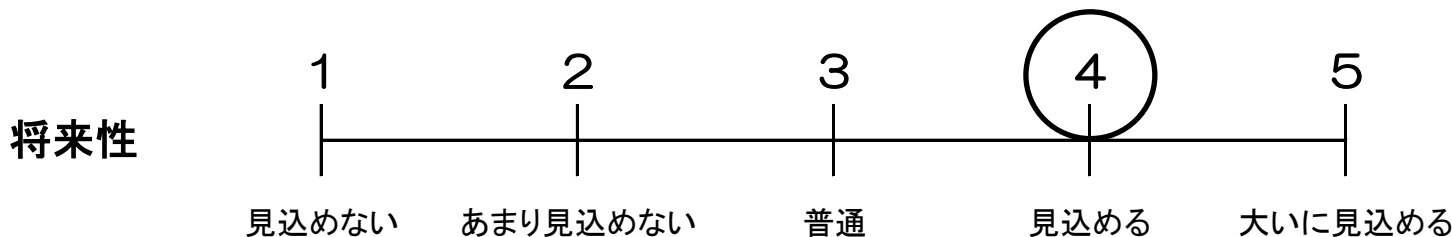
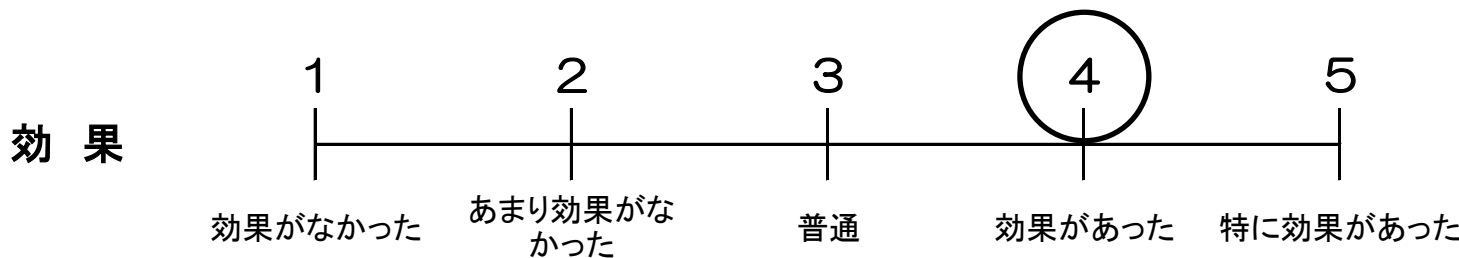
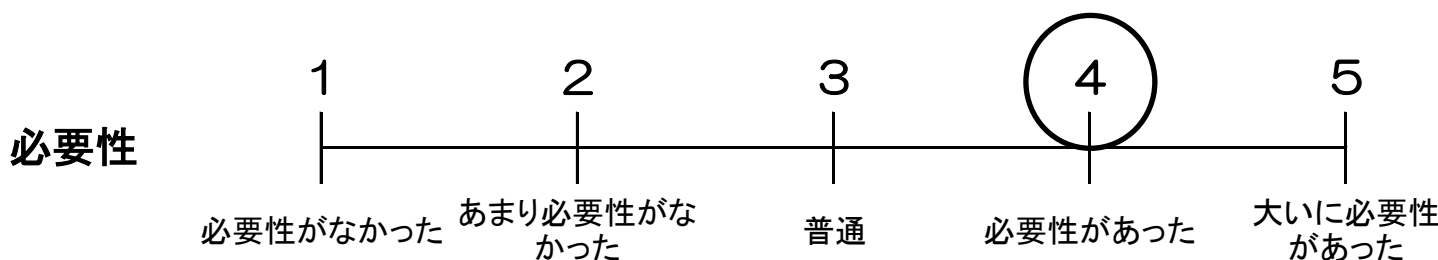
令和4年2月16日

事業名	町のいま2021・小冊子発行事業
------------	------------------

団体名	桜新町自治会
------------	--------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	教育・文化活動
-------------	---------



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

桜新町区は、高度成長期の昭和30年代後半から昭和40年代後半に造成分譲された住宅密集地である。朝陽地区の中でも高齢化率が最も高く、地域住民の強いつながりが必要とされる地域である。

区役員は地域への関心を高め、地域の活性化や住民が相互に支え合う体制づくりが必要と考えているものの、地域活動の担い手不足が最大の懸案事項となっている。

当該事業は、今年度、住宅地分譲開始から60年の節目に当たることから、住民が参画して「いま」を伝える小冊子の発行を通して、住民の町への愛着や理解を深めるとともに、自治会活動など地域活動への関心、積極的な参加を促すために行った事業である。

事業の効果としては、冊子作成に当たり自由投稿総数が150を超える多数の参加があり、住民交流や相互理解が促進され、また、地域の昔や今の様子を知ることにより町への関心・愛着が自然に育まれたとのことである。自治会活動への投稿もあり、活動への意識の高まりも見られた。

区では冊子発行を契機に住民参加・交流の促進を継続的に図って行く考えであり、支所長としては、地域活動に関心のある住民が一定数見込まれることから、地域への関心を高められる活動を企画し、実行していただき、地域活動の担い手の確保につなげていただきたいと考える。